

【報告】第10回弊社主催オンラインセミナー
『三つ子の魂百まで!? 子ども時代が肝心!』
～集客の為の販促なしでも3世代が通う“足の駆け込み寺”のおはなし～



永井 恵子 氏



足根骨の化骨年齢イラスト



足のトータルケア・アドバイス空間構想
想)が続ける
なる物語(構
環には、更
自然な好循
て生まれた
実践を通し
訪れる…3世代が通う“足の駆け込み寺”
のお話。まさに発達学的なアプローチの

いることとなります。
また、足には「横アーチ、内側縦アーチ、外側縦アーチ」という身体全体のバランスを支える3つのアーチ機能や心臓から送り出された血液を筋肉の収縮によって再び心臓に送り返す役割(ミルキングアクション)をもち、「第二の

必要性をも啓発し続けておられます。
更に、60年間変化のない日本の子供靴に対する意識について、自ら大学で研究した結果を基に、社会の変化に応じて子どもの身体の成長を阻害しない靴使用の
必要性をも啓発し続けておられます。
更に、60年間変化のない日本の子供靴に対する意識について、自ら大学で研究した結果を基に、社会の変化に応じて子どもの身体の成長を阻害しない靴使用の

お客様自ら“腑に落ちた”
と仰ることの意味

2月13日(土)、第10回弊社主催オンラインセミナーを開催、ゲストスピーカーに内閣府認可NPO法人Wish理事長でありKOOK知多店チーフの永井恵子氏をお迎えしてお話を伺いました。
なぜ“子ども時代が肝心”なのか?
人体は204個もの骨で構成されており、そのうち足の骨は両足合わせて56個と、実に身体全体の4分の1程を占めていることとなります。

心臓”と言われる所以です。
そして幼少期は軟骨成分が多く可塑性に富み、特に2〜8歳がアーチを形成する時期で、15〜18歳で化骨期は終了期を迎え、これが後に変化の効かない生涯を通じての身体の土台となることなのです。



令和3年3月
【010号】

DreamGP
Dream Growing Platform
株式会社ドリーム・ジーピー

【大阪本社】
〒556-0004
大阪市浪速区日本橋西1丁目3-19 南海日本橋ビル1F
TEL:06-4708-4877 / FAX:06-4708-4789

《弊社主催オンラインセミナー動画》
ホームページへのアップロード情報



【第7回(2020/10/17)は…
榊山忠様の靴下開発のお話
ギシナビ 検索
https://www.gishinavi.com/

各種『補助金』情報 **随時更新!**

《その1》ものづくり補助金

〔一般型・グローバル展開型〕6次締切の公募要領発表

●公募期間	公募開始日	令和3年2月22日(月)17時
	申請開始日	令和3年4月15日(木)17時
	申請締切日	令和3年5月13日(木)17時

- 締切の年間スケジュール》
4次締切 令和2年12月18日(済)
5次締切 令和3年2月19日(済)
6次締切 令和3年5月13日
7次締切 令和3年8月頃
8次締切 令和3年11月頃
9次締切 令和4年2月頃
※変更の可能性あり
出典：全国中小企業団体中央会 = https://portal.monodukuri-hojo.jp/

《その2》事業再構築補助金、採択に向けて描くストーリー(例)

- ストーリー①：整骨院および理学療法
83 医療業→産業分類 61 無店舗小売業
コロナ禍において来訪患者が激減。様々な疾患に対しての施術ノウハウを活かし、ベッドやインソールの切削機を内蔵したファンボックス車両で患者宅への往復とインソールをその場で製造・提供するサービス及び週に一度の往診とインソールのメンテナンスやポディーバランスを展開し差別化と地域活性化を図る。
●ストーリー②：小売店舗
56 各種小売業→83 医療業(フットケア)
靴やインソールの販売小売店が足に対する知識を活かして新たなフットケアビジネスを展開。自店舗にフットケア施設を開設し、足を揉む施術だけでなく3次元計測機で各個人の足を計測・カルテ化することで入り口を変化させ、顧客の困り込みを行い既存事業の靴販売へ繋げる。

【紹介】
日々の研究、ほんのひとコマ
“JAMBO プロジェクト”
希望の足
アドゥアヨム・アハゴ・アクエテビ(弊社研究員)

すべての切断者の切断後の生活の質は社会的に統合され、余暇活動やスポーツへの完全なアクセスを持つことです。オリンピックやパラリンピックなどのスポーツイベントは、身体障害者だけでなくアクティブなアスリートが集まる普遍的なイベントです。けれども、交通事故等の原因で四肢欠損のある若くて活動的な犠牲者は、トレーニング施設や教育の不足が原因で上記のような記憶に残るイベントに参加するためのネットワークを作ることが困難です。特にアフリカでは、非常に活動的な人々がオリンピックに出場していますが、スポーツ用義足を使用している者でパラリンピックに参加できる人は殆どいません。
切断者が身体の自律性を取り戻すための唯一の手段は、義足を装着することで、その多くは日常生活での使用を目的として設計されています。けれども、スポーツ用義肢装具は専門家の高度な技術が必要とし、エンドユーザーには高額な費用がかかります。資源や所得の低い国では、義肢装具に関するサービスが十分に考慮されておらず、リハビリテーションサービスの認知度も低く、なかなか一般の人々にまで行き渡らないのが現状です。
JAMBO プロジェクトでは、母国に暮らすポテンシャルを秘めたパラアスリートを支援しており、この試みは西アフリカはトーゴ共和国において、切断者にスポーツ用義足を装着してトレーニングを行った初めての事例となります。
そして、この選手の希望は、低所得国に暮らす人々や身体障害を持つ他の多くの人々のモチベーションを高めるために、パラリンピック競技に参加することです。



晴らしい発想です。実現を祈っています。

●永井様の御心境を経験し、「苦勞をお察し申し上げます。しかし、迫力があがり、ご自身の経験から得たお話は説得力充分でした。全国民「足手帳」を持つ！素

【第10回弊社主催
オンラインセミナー】
参加者様からのご感想
(※一部抜粋、原文ママ)

●熱意が伝わるお話でとても良かったです。子供の頃の骨の育成時期に足にあった靴を履く大切さがよくわかりました。(S様)

●成長過程における靴の重要性が分かるいい講演だったとおもいます。面白い演題だと質問が多くなると思われませんが、時間的に回答できないものがあつた場合、HP等に回答をアップしてもらえると質問した人も助かると思います。(O様)

足やひざが痛い…
フィットする靴が見つからない…
そんなお悩み、ありませんか？



『足から始まる健康』をサポートします！

足の不具合が全身の健康に影響を及ぼすことはご存知でしょうか？
マイフットステーションでは、自社開発の最新型3D足型計測機でお客様の“いま”の足の状態を計測・分析し、おひとりおひとりのお声に寄り添ったご提案をさせていただきます。(※計測無料)
なお、当店は完全予約制ですので、ご家族やお友達等お誘い合わせのご来店でも「3密」を避けたご対応が可能です。
当店ホームページまたはInstagram(インスタグラム)をご確認の上、是非お気軽にお問い合わせ下さい。

Instagram始めました！



MYFOOTSTATIONNAMB



MyFoot
なんば



大阪市浪速区日本橋西1-3-19 南海日本橋ビル1階
電話：06-6586-6077
営業：月曜日=11時~17時 / 火曜日~金曜日=11時~19時 (土日祝休)

時を経るに従い、貴社のご活動が質量ともに発展し、大いにご期待申し上げます。
有難うございました。(S様)

facebook

**SNS 開始につき
フォロワー大募集!**

ギシナビ
prosthetist and orthotist navigation

<https://www.facebook.com/gishinavi>

義肢装具士の地域情報プラットフォーム「ギシナビ」は、全国の義肢装具士の優れた技術を医療機関～地域の方々へ、社会全体の「健康」と「幸せ」のために情報発信しています。

<https://www.instagram.com/gishinavi/>

第11回 Zoom 利用による無料オンラインセミナー

2021年3月14日(日)
10:00~12:00

義肢装具士の皆様へ

「手と目と対話 (ビスポーク) の経験知から様々な義足を開発してきた職人が最先端の3D技術を取り入れてさらなる飛躍を試みているお話」

【演題】

1. 10:00~11:15

『「手と目と対話 (ビスポーク) の経験知から様々な義足を開発してきた職人が最先端の3D技術を取り入れてさらなる飛躍を試みているお話』

客員講師：臼井 二美男 氏

(公益財団法人 鉄道弘済会 義肢装具サポートセンター研究室長)

~~~~~休憩 (11:15~11:25) ~~~~~

2. 11:25~11:50

『【実演】全公開! ~足底板設計ソフト“インソールG”による設計~』

講師：成毛 喜男 (弊社執行役員)

3. 11:50~12:00

『各種補助金について』

講師：中村 美穂 (弊社執行役員)

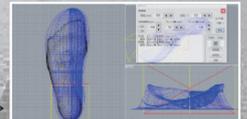


臼井 二美男 氏

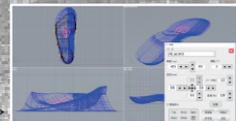


臼井氏ご著書 (ポプラ社)

〔設計加工の例〕  
ウエッジ加工→



〔設計加工の例〕  
メタパーツ加工→



【お申込み・お問合せ】 ※お申込み期限：3月11日(木)

主催 (株)ドリーム・ジーピー  
TEL: 06-4708-4877 / FAX: 06-4708-4879  
E-mail: info@dreamgp.jp

・「氏名(ふりがな)、貴社名、所属名・役職、電話番号、メールアドレス」をご用意の上、FAXまたはE-mailにてお申し込みください。  
セミナー当日、お伺いしたメールアドレスへ専用URLを送信致しますので、そちらをクリックしてご参加下さい。



## “JAMBO Project”

### Leg of Hope

Akouetevi Aduayom-Ahego, PhD

Quality of life after amputation of every amputee is to be socially integrated and to have full access to leisure activities and sports as well. Sport events such as the Olympic and Paralympic games are universal events that gathers active athletes as well as the physically challenged. However, due to lack of facilities, training, education on the issue, young and active victims of road traffic accidents or other cause of limb deficiencies found it difficult to be part of these memorable and networking events. Particularly in Africa, quite active people participate in the Olympic Games but few people with limb deficiency using sport prosthesis have access to the Paralympic games. The only means for any amputated person to regain physical autonomy is to be fitted with a prosthesis. Most of these assistive devices are designed for daily use purpose. However, the advanced prosthesis in sport requires high skill from the professionals and a fortune for the end user. In low resource income countries, prosthesis service has limited consideration, awareness and access of the rehabilitation service is yet to be benefited by the general public. Giving hope for the physically challenged through sport leisure activities will bring a certain level of awareness to the general public and motivation for the physically challenged. Thus, JAMBO Project supports a sport prosthesis for an active amputee from the Republic of Togo in order to participate in sporting activities. This experience was one of the first to fit and train an amputee with a sport prosthesis in the Republic of Togo, West Africa. Our hope for this athlete is to take part of Paralympic games in order to motivate other people living with physical disability in low-income countries.